

各部会報告および今後の部会編成について

25年度 豊明市障害者地域自立支援協議会

資料 2-1

個別の課題解決

地域課題の共有・解決

地域自立支援協議会

- 年1・2回開催
- 地域課題の共有・提言
- 専門部会設置に関する検討
- 地域課題解決のための協力体制の構築

担当者会議

- 月1回開催
- 相談支援状況の確認
- 困難事例の対応
- 関係機関との連絡調整

メンバー

- フィット
- 社会福祉課
- 指定特定相談支援事業所

提案

運営調整会議

- 月1回開催
- 専門部会・自立支援協議会の議題・内容の検討

メンバー

- 相談支援アドバイザー
- フィット
- 社会福祉課
- 指定特定相談支援事業所

報告

報告

専門部会

- ◆ 療育支援部会
- ◆ 相談支援部会
- ◆ 就労支援部会
- ◆ 生活支援部会

○協議会が指定する事項の調査・研究

○地域課題の具体的解決方針の検討

個別支援会議

- 随時開催
- 個別事例にあわせ参加者を招集。
- 関係者間の支援目標の共有・役割分担
- 個別事例から地域課題の把握。

報告

運営の相談

相談支援部会について

平成 25 年度の相談支援部会では、市内の相談支援に係わる事業所の相談員を中心に部会員を構成し、豊明市役所社会福祉課と障がい者基幹相談支援センター フィットが事務局機能を担い、主に計画相談支援の推進に向けた方向性について話し合った。また、26 年度末までの福祉サービス利用者全ケースに対する計画導入を国が政策として進める中で、多くの事務量をこなしながらも、いかにして相談支援の質を担保していくかという課題も浮かび上がった。その中で、複数の福祉事業所に相談支援業務を委託して、事業所間の連携を保ちながら相談業務を行い先駆的な体制を取っているみよし市への視察を行い、本市での基幹相談センターと特定相談支援事業所の関係性について検討した。年度後半では、計画 100%導入を達成するための具体的な行動指針が市から提示され、事業所間での目的意識の共有を図った。さらに、児童福祉課と協力して、障害児の計画相談支援についても協議し、セルフプランの書式に関する検討や市民向け説明会開催について意見交換した。

【開催状況】

第 1 回

日時：平成 25 年 5 月 20 日（月）15:00～17:00 会場：総合福祉会館 3 階会議室
(議題)

1. 25 年度の部会開催予定について
2. 障害者相談支援体制・計画相談の推進について
3. 研修推薦（相談支援専門員）について
4. その他

第 2 回

日時：平成 25 年 6 月 17 日（月）15:00～17:00 会場：豊明市役所 会議室
(議題)

1. 部会長の選出（議決の取りまとめ役、地域自立支援協議会への報告等）
2. 計画相談運用の注意点確認（社会福祉課より）
3. 認定調査の事業所委託について
4. セルフプランの取り扱いについて
5. 年間計画について

第 3 回

日時：平成 25 年 8 月 26 日（月）15:00～17:00 会場：総合福祉会館 3 階会議室
(議題)

1. セルフプランについて

他市町村の動向確認、書式の検討

2. 今後の予算について
相談支援体制に係る市の予算について説明
3. その他
ゆたか苑の相談支援体制について

第4回

日時：平成25年9月9日（月）15:00～17:00 会場：豊明市役所 東館1階 会議室6
(議題)

1. みよし市視察報告
相談支援体制づくりを参考にする
2. 計画相談支援の各事業所進捗状況確認
3. セルフプランの導入に向けて
4. 今後の相談支援体制について

第5回

日時：平成25年10月21日（月）15:00～17:00 会場：豊明市役所 東館1階 会議室6
(議題)

1. セルフプランの導入について
2. 26年度の相談支援体制について
3. 今後の部会での検討課題について
 - ①サービス等利用計画の評価、質の向上の取り組み
 - ②訓練系給付の暫定支給決定と計画の流れの整理
 - ③障害程度区分によるサービス支給決定量基準（市作成）についての意見聴取

第6回

日時：平成25年11月18日（月）15:00～17:00 会場：豊明市役所 東館1階 会議室6
(議題)

1. 就労系の暫定支給を含めた計画相談・支給決定の流れ
2. セルフプランの児童を含めた取り扱いについて

第7回

日時：平成25年12月16日（月）15:00～17:00 会場：豊明市役所 本館 会議室3
(議題)

1. セルフプランについて（児童相談・今後のサービス等利用計画について）
 - ①セルフプラン様式の記入例確認（障がい者版）

- ②児童セルフプランについて
- ③今後のサービス等利用計画について
- 2. 自立支援協議会本会議について
- 3. その他

第8回

日時：平成26年1月20日（月）15:00～17:00 会場：豊明市役所 東館1階 会議室6
(議題)

- 1. 計画相談の導入・推進について（障害者・障害児）
- 2. 自立支援協議会本会議に向けて
- 3. その他

第9回

日時：平成26年2月17日（月）15:00～17:00 会場：総合福祉会館 2階 フィット
(議題)

- 1. 計画相談の導入・推進について（障害者・障害児）
- 2. 自立支援協議会本会議に向けて
- 3. 次年度の就労相談について
- 4. その他
地域人づくり事業について

就労支援部会について

平成 25 年度の就労支援部会では、就労に関する地域の課題について各事業所からの意見を基に、部会で何に取り組んで行くかを検討した。ここでも出された地域の課題については、日々の支援より抽出されたものでどれも重要な課題であった。

第 1 回

日時：平成 25 年 5 月 30 日(木) 14 時 00 分より 会場：あびっと

議題

- 1、 各事業所紹介、部会長選出
- 2、 前年度の活動内容の確認
- 3、 25 年度に取り組む課題について

課題：工賃向上、地域企業との連携、事業所の PR、養護学校の新卒者の支援・暫定支給決定のあり方など。

第 2 回

日時：平成 25 年 7 月 12 日(金) 13 時 30 分より 会場：ハーミット

議題

- 1、 取り組む課題についての意見交換
- 2、 年度の活動予定を検討

課題：事業所でのアセスメントについて、障害者優先調達法の活用、市役所でのチャレンジ雇用の導入など。

第 3 回

日時：平成 25 年 9 月 5 日(木) 13 時 30 分より 会場：アレイル

議題

- 1、 サービス利用時の支給決定・サービス等利用計画導入の流れについて確認
- 2、 情報交換・共有
 - ・各事業所利用時の評価の在り方について各事業所の現状を踏まえて

第 4 回

日時：平成 25 年 10 月 7 日(月) 13 時 30 分より 会場：メイツ

議題

- 1、 上半期の就労支援部会の振り返り
- 2、 今後の部会展開の検討

課題の絞り込みや共通の目標設定が難しかったため、部会活動について事務局で検討することとなる。事業所間での意見交換・情報共有の機会は設ける方向。

第5回

日時：平成26年2月24日(月) 13時30分より 会場：豊明市役所東館3階 政策審議室
議題

- 1、今年度部会のまとめ
- 2、就労部会から運営調整会議へ報告と提議内容について
 - ・ 合同で学びあえる場について
 - ・ 相談支援体制について
 - ・ 優先調達法の活用等について
- 3、平成26年度の自立支援協議会について
 - ・ 専門部会の編成、事業所連絡会の創設について
- 4、意見交換

まとめ

- 1、合同で学びあえる場があると良い。
 - ・ 事業所の職員がともに学び合える場所。
 - ※ 関係機関とのかかわりあえる場、事業所の運営について考える場。事業所・関係機関との情報交換・連携など。
 - ・ 地域の学びの場。
 - ※ 地域や企業への啓発の実施。
- 2、相談支援体制について
 - ・ 専門的な就労相談への対応ができると良い。
 - ※ HWとの連携や新たな市内事業所の開発。
 - ・ 利用者の次の段階への移行相談も必要。
 - ※ 暫定支給決定の在り方について。特別支援学校から卒業する際の相談支援体制。
- 3、優先調達法の活用等について
 - ・ 利用者の工賃向上
 - ・ 市役所での雇用の創出についての検討
 - ・ 行政の仕事について

生活支援部会について

平成 25 年度の生活支援部会では、居宅介護(ヘルパー)事業所と生活介護(障害者のデイサービス)事業所の管理者を中心に部会員を構成した。主に、障害者の生活支援を担う支援者同士で日々の業務で感じる課題について意見交換を行った結果、本年度は、(1)豊明福祉会関連施設(メイツ・フレンズ等)とゆたか苑を見学して、地域の福祉事業所について学ぶ、(2)市民の福祉サービス利用に役立つ事業所の紹介冊子(福祉ガイドブック)の作成、この二本柱で部会運営を行う事となった。

全 4 回の部会開催で、施設見学を通じて支援者相互の理解が深まり、連携強化が図れた。また、福祉ガイドブックも市内福祉事業所の協力により、完成に至った。

【開催状況】

第 1 回

日時：平成 25 年 7 月 23 日 (火) 14:30~16:00 会場：総合福祉会館 3 階会議室
(議題)

1. 部会員の自己紹介、事業所紹介、意見交換
ヘルパーが介護保険分野に流れてしまう課題、人材不足
2. 基幹障がい者相談支援センター フィットが設置された経緯と役割の説明
3. 豊明市福祉ガイドブックの作成に向けた取り組み
半田市、瀬戸市の資料を参考に、豊明市版の冊子をどのように作成するか協議

第 2 回

日時：平成 25 年 9 月 19 日 (木) 14:30~16:00 会場：豊明福祉会メイツ 会議室
(議題)

1. 豊明福祉会関連施設(メイツ・フレンズ等)の見学
今まで近くで働いていたのに、何をしているのか全く知らなかったという声
2. 福祉ガイドブック作り
内容の協議、市民にとって役立つ情報とは何かを検討
3. 施設見学の振り返り

第 3 回

日時：平成 25 年 11 月 14 日 (木) 14:00~16:00 会場：ゆたか苑 デイルーム
(議題)

1. ゆたか苑の見学、振り返り
入所、通所者の生活状況や施設の設備を確認
2. 福祉ガイドブック作り
配布方法、完成までの工程について協議

3. 地域課題の抽出、解決に向けた取り組みについて
協議会でどのように地域課題に取り組むのかを確認
4. 深刻な事業所の人材難
福祉の担い手確保は地域で取り組むべき課題であるという共通認識

第4回

日時：平成26年1月16日（木）14:00～16:00 会場：総合福祉会館 3階 視聴覚室
(議題)

1. 福祉ガイドブックの作成
事業所紹介シートの締切日設定、製本に向けた予定を確認
2. 本年度部会のまとめ
開催した4回の会議について振り返り
3. 次年度の課題
来年度新設の「そだつ部会」についての期待他
4. 部会員の所感
連携の大切さ、会議に出ることの意義を事業所管理者に伝える難しさ

1. 開催日(平成26年2月13日開催)

2. 会の趣旨

(1)市における今後の障害児支援のあり方を検討する

(2)子どもの成長とともに複数の部署が係わることから、一貫した支援のあり方を検討する

3. 昨年度の課題

(1)児童発達支援センター設立に向けて

(2)どんぐり学園での単独通園への取り組み

(3)港養護学校の送迎支援について

◆構成メンバー

豊明福祉会(ふぁーもにー、ファイン相談支援事業所)・教育委員会・社会福祉課・健康推進課
児童福祉課

◆各部署から情報提供

(1)障害児支援事業について

児童発達支援センターについては、施設の基準などの課題や予算等今後も継続して検討する。

(2)どんぐり学園単独通園について

平成25年5月より開始。

当初は3名から実施し、平成25年10月から5名で実施継続中。

(3)保育園での加配保育士の配置状況

平成25年度は80名(診断のあるお子さんは11名)加配保育士17名で対応。

平成26年度は101名申請中 88名を対象としている。(平成26年2月末現在)

(4)保育所等訪問支援事業 ※別紙資料1参照

保育園・幼稚園の療育等支援の必要なお子さんへの保育相談・保護者相談を実施。

(5)市内小中学校での状況

(6)ファイン相談支援事業所 ※別紙資料2参照

平成25年度から児童の相談部門は児童福祉課が担当することになり、児童福祉課にて相談受付を開始。

(7)児童デイサービスふぁーもにーの現況

常に定員が一杯、受け入れ利用者の年齢層のばらつき大きい。事業所のニーズの引きあげが難しい。

(8)港養護学校への送迎支援について

1事業所が移動支援として実施しているが課題あり。

(9)保健センター

乳幼児健診から事後フォロー事業へつなぎ、療育の最初の一步の位置づけを確立。

(10)家庭相談員より

家族内の問題が子どもに直結し波及している。特に母親の社会性の不適合からくる育児や団体生活の困難さが最近顕著になっている。処遇困難ケースの対応も多数あり。

◆平成26年度への検討課題

子どもに関わる施設・集団の関係者と子どもや保護者との情報共有ツールとしての「サポートブック」作成と連携について検討していく。

◆平成26年度開催予定:2回 「サポートブック」作成についてのワーキンググループを
立ち上げる予定:打ち合わせは3~5回を予定

運営調整会議について

1 会議目的・内容

- ◎自立支援協議会の運営についての協議
- ◎市の相談支援体制についての協議

2 構成メンバー

- ・相談支援地域アドバイザー(川上様)
- ・市内相談支援事業所代表(豊明福祉会、静心会)
- ・障がい者基幹相談支援センターフィット
- ・社会福祉課

3 開催日時・内容および議題 (25年度中に9回開催)

開催日	議 題
平成25年5月1日	1 基幹相談支援センターの運営について 2 専門部会の内容および運営について
6月5日	1 豊明市の相談支援事業の変遷および今後の課題について 2 基幹相談支援センターの業務・方向性について
7月3日	1 自立支援協議会専門部会の協議内容について 2 26年度の相談支援体制(案)について
9月25日	1 自立支援協議会(専門部会)の25年度中間報告および今後の予定について 2 26年度の相談支援体制(案)について
11月11日	1 自立支援協議会専門部会の今後のすすめ方について 2 26年度の専門部会体制を含めた協議会の枠組みについて
12月10日	1 26年度の専門部会のあり方と協議会全体の運営について 2 計画相談支援の推進について
12月24日	1 26年度専門部会内容および取り上げる課題について
平成26年1月29日	1 26年度専門部会の内容について
3月4日	1 自立支援協議会 26年度の運営について 2 その他(地域人づくり事業補助金関係)

26年度 専門部会で取り組む地域課題について

● 25年度の専門部会の検討内容、および第2次障害者福祉計画中間見直しにおける団体・事業所アンケートからの課題を基に、運営調整会議内で専門部会として26年度に取り組む内容について検討を行った。

候補として挙げたのは以下のとおり。

- ・相談支援（計画相談推進、質向上の取り組み、支給決定の流れ整理等を含む）
- ・人材の確保・育成
- ・居住の場確保（グループホームに利用できる物件、アパート等）
- ・就労についての相談・支援
- ・防災（地震等が発生した際に備えての対応）
- ・福祉就労事業所等の受注拡大、工賃向上
- ・障害児支援（児童福祉課主管）

このうち、専門部会として取り組むにあたっての優先順位を検討。以下の点を考慮。

- ・地域のネットワーク化などを通して、協議会（専門部会）で取り組むことが有効であること。
- ・地域全体の課題として部会としての取り組めること。
- ・課題に取り組む波及効果が大きいこと。
- ・課題の重要性、緊急性

検討の結果、以下の3部会1プロジェクトチームを26年度専門部会として実施する案となる。

◎相談支援部会

◎療育支援部会

◎**そだつ部会**（新設。人材の確保・育成に向けての取組を実施。）

詳細は別紙参照

○**居住の場確保プロジェクトチーム**（新設）

グループホーム・ケアホームの整備が進んでいない現状を受け、居住の場確保のために必要な施策および地域ネットワークについて検討。

部会の前段階として26年度中に1～2回開催予定。

※新設する1部会1PTは、第2次豊明市障害者福祉計画見直しにおける重点項目（地域生活支援・生活環境づくり）における「居住」と「福祉の人材確保」について、具体策を検討実施する場とする。

第2次障害者福祉計画中間見直し
団体・事業所アンケートからの意見（まとめ）
（平成25年11月実施）

●普及・啓発・育成等

- ・災害時に備えての体制整備と対応について。
- ・障がいに対する市民や地域の理解の促進。
- ・福祉の担い手の確保と人材育成。

●施設・支援体制の整備

- ・福祉サービスの計画的な整備と補助金等の支援。
- ・NPOへの支援。（資金面・情報提供・運営支援など）
- ・ショートステイ、グループホーム、ケアホームなどの生活の場の不足と確保。
- ・公団や空き店舗等を活用し、小規模事業所やケアホームに。
- ・日中の居場所の確保。（特に精神障がい者）
- ・授産製品の販路拡大、工賃向上。
- ・重度障がい者に対する教育や支援の充実。
- ・公共交通機関、ひまわりバスの充実。段差の解消。
- ・高齢化にともなう介護度増に対する対応。（機能訓練等も含めて）

●相談・連携の強化

- ・相談支援事業の充実・連携強化。補助金等の支援。
- ・就労支援の多様化とそれに対応するための体制や連携の充実。
- ・事業所の強みを生かした連携と役割分担。
（事業所までの送迎等のアクセス確保も必要。）

「そだつ部会」について（案）

●部会の目的・狙い

障がい福祉サービスは対人援助であり、その担い手である「人材」の育成はきわめて重要である。障害福祉の不足する資源を整備拡大するにあたり人材の確保・育成が今まで以上に必要となってくるが、高齢化が進み福祉職全体で人材が不足しているとともに障がい福祉の人材はさらに確保が困難な状態にある。人材の確保・育成を地域の重要課題とし、市と事業所が協同して人材の確保・育成について取り組んでいきたい。その取組を通し地域全体の支援の向上をはかることを目的に、「そだつ部会」を立ち上げる。

●内容（案）

- ・福祉の人材確保のための「福祉のしごと見学会」
- ・特性に合った支援についてのテーマ別勉強会
（予定テーマ）発達障害、うつ病、統合失調症、重度障がい者、家族支援
- ・事業所連絡会



